

アカゲラ通信

2020年4月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



レストハウス4月25日（土）オープン予定

旭山記念公園レストハウスは4月25日土曜日オープン予定ですが、新型コロナウィルスにかかる動向により延期となる可能性があります。情報はホームページなどでその都度ご案内させていただきます、ご了承ください。



旭山の桜のお話

いよいよ桜の季節がやって来ます。旭山では現在、以下7種の桜が確認されています。

☆エゾヤマザクラ

旭山、そして北海道で最も多く見られる桜。

正式な和名は「オオヤマザクラ」。本州以南の山地にもある。

花弁は濃いピンク色から薄いものまでさまざま。花柄が無毛でつるつとしている。

☆カスミザクラ（下写真左から3枚目）

山地にまばらに生える。花弁はほとんど白。花柄に毛がある。

エゾヤマザクラが散ってから開花。第2駐車場と学びの森付近にある。



☆八重桜

旭山にも何種かある園芸品種。エゾヤマザクラより10日程遅れて開花。

展望台下南側と学びの森付近にある。



☆セイヨウミザクラ(さくらんぼの木)（右写真上から2枚目）

園芸品種。エゾヤマザクラの後に白い花が開く。実は食べられるが虫食いが多いので要注意。巨木の谷と遊具広場にある。

☆チシマザクラ(千島桜)

公園開基の際に学びの森に植えられたが、周囲の木に被圧されて生育状況が悪い。



☆シウリザクラ（右写真上から3枚目）

桜と名がつくが上記5種とは同じ科でも違う仲間で、花が穂のように咲く。

5月下旬開花。野山に普通。旭山では花が咲く木は少ない。

☆エゾノウワミズザクラ（右写真上から4枚目）

花が穂のように咲くもうひとつの桜。5月下旬開花。学びの森にある。

※ソメイヨシノは旭山にはありません。



■ミヤマザクラを探そう

北海道に自生するもう1種、ミヤマザクラは旭山では見つかっていません。

見つけた方はご一報ください。下写真左端は西岡公園で撮影したもの。

■近場の桜を見に行こう

・中島公園のソメイヨシノ

・月寒公園のしだれ桜（下写真左から2枚目）

・南4条通りの八重桜並木道(南4条西20丁目～27丁目)(下写真右端)

東西約800mに及ぶ八重桜の並木道。円山墓地横から一望に見下ろすことができます。

・南11条通りの八重桜並木道(南11条西22丁目～23丁目)

地元緑丘小学校の南側にも約200mの八重桜並木道があり、毎年花を楽しめます。



旭山野鳥メモ ⑯ヤマシギ

ヤマシギ Eurasian Woodcock *Scolopax rusticola* チドリ目シギ科

夏鳥、3月下旬渡来。ハト大のころとした体つきに長い嘴。

赤みの強い茶褐色、大きく飛び出した目は360度見える。

シギの仲間だが海辺ではなく山で暮らす変わり種。

春先、散策路を歩いていると、地面から突然バタバタと大きな音を立てて飛び立つ鳥がヤマシギ。人が近づくとぎりぎりまで静かに構え、間近に来ると大きな羽音で驚かせ、相手がひるんだすきに飛んで逃げる。

「ヤマシギ飛ばし」と呼ばれるこれ、春の風物詩といつてもいい。



春以降、昼間は笹藪の中でひっそりと生活、開けた場所で餌をとることはあるが、観察機会は多くない。

6月までは、夜に「チキッ ブー」と奇妙な低い声で鳴きながら低空を旋回飛行する「ディスプレイフライト」を行う。旭山でも見られ、展望台周辺に来ることもあって、むしろ夜の方が観察しやすいかもしれない。

10年以上前、藪の中に偶然巣を発見。静かに観察を続け、7月中旬に雛が2羽巣立った。

ところで、昨年出版され話題となった札幌の野鳥観察の赤い本に、ヤマシギは載っていない。

レア種というよりはその生活様式から観察が難しいというものだが、実は、身近なところにいる鳥。

4月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧いただけます。

●夏鳥到来情報4月5日まで(カッコ内は昨年の初認日)

・ホオジロ 3/22(3/25) ・キジバト 3/28(3/24)、・ヤマシギ 3/29(4/3)

◎夏鳥到来日予想 4月編 ~過去のデータから予想してみました

・キセキレイ 4/8 ・アオジ 4/12 ・ウグイス 4/13 ・メジロ 4/20

・クロツグミ 4/22 ・ヤブサメ 4/22 ・センダイムシクイ 4/30

☆トラツグミ=夜に「ヒヨー」と鳴くトラツグミ、毎年4月中旬に渡来して

鳴き始めますが、昨年は確認できませんでした。今年はどうでしょうか?

★モズ=2月から3月に何度か観察され、今年は越冬したようです。



★イスカ=3月中もいましたが低い位置にはめったに降りてきません。4月にも観察されることがあります。

★キクイタダキ=3月中は風の丘周辺でほぼ毎日見られました。例年4月中旬まで見られます。

★クマゲラ=この春は園内での観察機会が少なめですが時々見られています。4月もまだ見られます。

★ヤマゲラ=声は毎日聞こえ、時々近くで見られます。★カケス=ついにこの冬は現れませんでした…

★シマエナガ=見られる場所が限られてきており、たいていつがいで行動しています。時間はまちまちです。

目指せ300種！ 旭山昆虫リスト

旭山記念公園と旭山の森で観察された昆虫のリストを作成しています。

昨年は24種増え、289種となりました。

中には、過去に撮影した写真を見直したところ種の同定に至り、リストに加わった種もあって、写真のオオルリオサムシもそのひとつ。

オオルリオサムシは金属光沢がある甲虫で「歩く宝石」と呼ばれ、世界中で北海道にしか生息しておらず、人気が高い昆虫です。

旭山でも見られれば、と思っていたら過去の写真の中に発見。

今年は動く姿をぜひ見たい昆虫のひとつです。

リストの種数は、蛾の仲間、ハエ目のアブ、ハエが分かれれば数が飛躍的に増えると思われます。

大目標は1000種ですが、今年はひとまず300種を目指します。



「アカゲラ通信」 第78号 2020(令和2)年4月3日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先 電話 011-200-0311 (土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>

公式サイト